

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



日本ではコロナコロナの毎日です。世界ではどんなことが起きてきているのか？ 差し迫った危機に気付かず、要領とした気分で生きることを「噴火山の上の踊り」という。災害が起きて初めて、人は火山の上でいたことを気付かされるという。世のならいを言った言葉であろう。アフリカのゴゴには、世界有数の脅威ともいわれる火山のそばで、噴火があると知りながら多くの人が生

コロナ禍の中で子供達が花育学習の一環として花を植えました。どんな思い出で植えたのかな？



柏井保育園 花育 (R3.5.20)

まる都市がある。人口約二百万人というゴマは、ニラゴゴ山のすぐ近くだ。過去四十年余り、二度、深刻な被害をもたらしている。活火山である。

悲惨な内戦や民族間の紛争など人口が増えている。よそには住めない住民は多いはずだ。恐れられた。噴火が起きた。



巨大な溶岩湖でも知られる山から溶岩が流れ出て住宅地を直撃。警戒はしていたが、もろくも死者が出た。しかし百七十人以上の子供の行方が不明になっているとのことだ。ニラゴゴ山の噴火警

戒めぐる研究は進んでいるが、ルワダの紛争にまで停滞を強いられている。火山列島の日本では最近富士山が噴出した際の対策も強化す

る動 ぎが ある。 火山 雲の 怖 さと 痛み を知 てる 同 じ、 噴 火 山 上 の 民 だ ろ う。 被 害 が 小 さ い こ と も 祈 り た い。

